

平成 29 年度 第 2 回西宮市環境計画策定部会 議事録（発言要旨）

- 開催日時: 平成 29 年 11 月 21 日(火) 10:00~12:00
- 開催場所: 西宮市役所 本庁 5 階 541 会議室
- 出席者: 野島部会長、清水副部会長、西明委員、北村委員、花田委員、中島オブザーバー
- 事務局: 須山環境局長
(環境・エネルギー推進課)山中課長、八木係長、藤原副主査、松井主事
(環境学習都市推進課)藤原課長
(美化企画課)森川課長
(施設管理課)山村課長
((株)地域計画建築研究所(アルパック))中川、駒

1. 計画策定の振り返りについて

- ・ 改定案の個別目標 1「低炭素」に関して、パリ協定では 2050 年には、温室効果ガス排出量を実質 0 としている。本計画は、計画期間が 10 年間あるので、計画期間内で、世の中の動向が「低炭素」から「脱炭素」に変化していると思われるが、本計画で掲げる目標としては、「低炭素」のままでよいのか。(委員等)
→資料 5 に各都市の環境目標が記載されている。兵庫県及び近隣他市でも「低炭素」として目標を掲げていることも含め、西宮市でも「低炭素」と設定している。(事務局)

2. 第 1 回環境審議会の報告について

- ・ 国の目標年度は 2030 年度、対して市のエネルギー推進計画の目標年度は、2028 年度であるが、この 2 年間のズレは、目標値を設定しづらいのではないかと。どのように整合性を図っていくのか。(委員等)
- ・ エネルギー推進計画は、新環境計画の低炭素の目標年度と関係してくるので、無視できない。(委員等)
→エネルギー推進部会の方で、新環境計画と合わせた目標年度になるように、具体的に検討して頂く。(事務局)
- ・ 環境審議会のご意見の中で、「子どもの環境への関心が低い」とのご意見があったが、他市と比べて低かったのか。また、「次世代につなぐということがキーワードになっている」とあるが、環境計画推進パートナーシップ会議や計画策定部会に参加頂いている教育委員会の関係者とも連携しながら、引き続き検討していくということか。(委員等)
→西宮市としては、他市との比較を出していないが、西宮市では、EWC 事業も推進しているので、子どもの環境への関心は、高いと思っている。記載内容は、今後、環境への関心を 6 割から 7 割、8 割にしていきたいとの意味である。また、教育委員会との連携は、今後も検討していく。(事務局)

- ・ 「アンケート、ワークショップともに、中高生からのアプローチが欠けている」とあるが、大人側からのアプローチと理解してよいのか。それとも、例えば、SNS の危険性を知るというフォーラムを中高生自身が集まって開くというのものもあるが、中高生へのダイレクトなアプローチを施策として考えているのか。(委員等)
- それも含めて、検討している。教育委員会の関係者の方にも、環境計画推進パートナーシップ会議や計画策定部会に出席して頂いているので、随時、新環境計画の改定を進めていく中で、ヒアリングを行い、連携を取っていく。(事務局)
- ・ エココミュニティ会議などの組織に入っていない地区もしっかり活動している。市のわがまちクリーン大作戦が年に2回あるが、市立西宮高校が高座地区の自治会と連携して、清掃活動を行っている。(委員等)

3. 各目標の施策体系の検討について

<低炭素について>

- ・ スマートコミュニティについて、言葉の意味がわからない。(委員等)
- ・ 市民単位で、自分の家庭がどれだけ電力を消費しているか、どれだけ電力が余っているかなどの数値を見える化すると、消費電力も削減させると思う。(委員等)
- ・ 中事業の「災害にも強い、低炭素型まちづくりを進めます。」とあるが、小事業では、「災害に強い」という部分は、どの事業になるのか。(委員等)
- 「市街地の緑化を推進し、低炭素化を図ります。」である。(事務局)
- ・ グリーンインフラは、防災・減災の効果や生物多様性など様々な効果があり、近年注目されている。中事業の「災害にも強い、低炭素型まちづくりを進めます。」に、グリーンインフラというキーワードを入れてみてはどうか。(委員等)
- ・ 浄水場などの常に水が流れている場所に、小水力を併設すると、非常電源になる。バイパスを持っている浄水場であれば、あまりコストをかけずに設置できる。(委員等)

<資源循環について>

- ・ グリーン購入に関して、例えばLEDの購入もグリーン購入に分類されるので、資源循環に限った話ではない。(委員等)
- 低炭素の目標にも、グリーン購入の要素を含めることも考えられる。
- ・ 現行の計画では、中事業に「循環型社会システムを推進する実行計画を策定します。」とあるが、次期計画では、「ごみ処理施設における焼却熱の利用推進など低炭素化を図るとともに効率的な施設の整備、運用に努めます。」となっている。他に循環型社会システムを推進する事業はないのか。(委員等)
- 現在、一般廃棄物処理計画やにしのみやチャレンジ25が策定されているので、改めて、新環境計画の改定案に記載する必要がないという判断で、「計画の策定」というキーワードは省いて、その内容だけを記載している。(事務局)
- ・ 実際に、市民や子ども達が、行動を起こそうと思った時に、この案を見ても、あまり

伝わらないと思う。(委員等)

→言葉だけでなく、写真を入れるなどをして、視覚的にもわかりやすいようにしたい。(事務局)

<生物多様性について>

- ・ 生物多様性の中事業に関して、「多様な生物とその生息環境を守ります。」とあるが、動物以外にも植物も含まれるはずなので、「生息・生育」を記載する方が適切である。(委員等)

→修正を行う。(事務局)

- ・ 小事業の「暮らしや産業の中で、多様な生態系サービスを育みます。」の表現よりも「生態系サービスを配慮します。」「生態系サービスを守ります。」の方が良いのではないか。(委員等)

→「暮らしや産業の中で、多様な生態系サービスを育みます。」の表現については、再検討する。(事務局)

- ・ より市民に生態系サービス自体や生物多様性の危機を知ってもらうために、身近なもの、食事と関連付けて、実感しやすいように、工夫をすべきである。(委員等)
- ・ 子どもたちには、人間も生態系の一部だと知ってもらった上で、人間活動によって環境破壊が進み、生物多様性が損なわれることに繋がっていると知ってもらいたい。(委員等)

→現在は、暮らしの中や産業の中で、生物多様性との関わりや恩恵が実感しにくいですが、自分たちの生活と生物多様性はかけ離れたものではないと、知ってもらえる様に、小事業の中では、小学生を対象にした環境学習が組み込まれている。(事務局)

<安全・快適について>

- ・ 有害化学物対策で、水銀が挙げられていない。水銀は、一部の小型家電や体温計などに含まれており、現在、回収されているので、言葉として入れておいてもよいのではないか。(委員等)
- ・ 中事業の「有害化学物質対策や新たな環境リスク等への対策を進め、安全な暮らしを確保する。」で、小事業には、適正処理の指導・助言とあるが、未然に有害化学物質の使用量を削減する等の記載されていないが、なにか意図があるのか。(委員等)

→今後検討していく。できるだけ、市民参画の裾野が広がる様に表現させて頂く。(事務局)

- ・ 文教住宅都市である西宮市らしい特色が入れればよいと思う。(委員等)
- ・ 現行計画の小事業には、「自然景観、都市景観の保全と創造」があったが、改定案には、「創造」というキーワードが無くなっているが、どういう意図なのか。森作りという意味では、自然景観の創造はあるのではないか。(委員等)

→都市景観の創造は、これからは無いと思うが、今後整理させて頂く。(事務局)

→壁面緑化などの緑化などもあるので、都市景観の創造は、「今後無い」とは言えないの

ではないか。(委員等)

<行動目標について>

- ・ 資料4に関して、学びあいの目標に記載されている「地域の環境力を高める。」、また、参画・協働の「地域力を高め」の概念がわかりにくい。(委員等)
- ・ 学びあいは、「1人1人の環境力を高め、みんなで環境活動を進めていきます。」の方が良いのではないか。また、参画・協働は「自律と協働を基本とし、連携を通して地域力を高め、持続可能な共生のまちづくりを進めます」等のわかりやすい表現にすべきではないか。(委員等)

→言葉の表現は検討していきたいと思う。西宮市の仕組みとして、「つながりがある」というのが、環境活動を推進していくところで大切なところでもあるので、その点を表現できたらと思う。(事務局)

- ・ エココミュニティ会議に入っていない人は、どうするのか。資料4を見ていると、エココミュニティ会議に属している前提で、目標が組まれている様に思える。(委員等)
- 主な取り組みとして、一部記載されているだけであり、そのような意図はない。(事務局)

- ・ エココミュニティ会議の活動は、1つの分野を頑張っていることが多いが、地域の方は、つながりを通じて多様な活動を行っている。(委員等)

→地域における多様な環境活動を何処かに記載できたらと思う。(事務局)

- ・ 参画・協働で「自律」というキーワードが抜けた意図は何なのか。(委員等)

→自律という言葉自体、学びあいという意味あいに含まれる。また、現行計画策定後、参画・協働の条例ができており、条例の表現に合わせできたため、この様な表現になった。(事務局)

- ・ 学びあいの低炭素の中に、西部総合処理センターとあるが、廃棄物発電をしている為、ここに記載されていると思うが、他に西宮市で、再生可能エネルギー推進していることがないのか。わざわざ、西部総合処理センターが出てくることに、違和感がある。(委員等)

- ・ 資料6に関して、「学びあい」に「低炭素」、「安心・快適」、「参画・協働」に「生物多様性」、「資源循環」が別れているように見えるので、表記に関して、工夫して頂きたい。(委員等)

- ・ 資料4の参画・協働の「各主体」は、具体的な説明は無いのか。読んだ市民が、自分も含まれるのか、わからないのではないか。(委員等)

4. 連絡事項

- ・ 第3回目の計画策定部会は、12月21日に行う。内容としては、新環境計画の素案に関してご意見頂きたい。(事務局)